

# 剣道初・二段審査会学科試験問題 (解答を記入して当日持参してください)

令和4年 月 日

段 受審番号

氏名

1. 次の文章は「有効打突」に関して説明したものです。文中の空欄にあてはまる言葉を下群から選び、書きなさい。(20)

有効打突とは、充実した( )、適正な( )をもって、竹刀の( )で打突部位を刃筋正しく打突し、( )のあるものとする。

刃筋 打突部 氣勢 顔面 姿勢 残心

2. 次の文章は「間合」に関して説明したものです。文中の空欄にあてはまる言葉を下群から選び、記号で書きなさい(20)

「一足一刀の間合」とは、剣道の基本の間合で、一步踏み込めば相手を( )できる距離であり、一步退けば( )の攻撃をかわすことのできる距離である。相手との距離が上記間合より遠い場合は( )で、相手が打ち込んでも届かないが、自分の打ちも届かない。また、近い場合は( )で、自分の打ちが容易に届くかわりに、相手の打ちも届く距離である。

ア:近い間合(近間) イ:相手 ウ:打突 エ:遠い間合(遠間)

3. 次の文章は、「日本剣道形」について書かれたものです。正しい文には( )に○を、間違った文には×を書きなさい。(20)

- ① 日本剣道形を修練することにより、剣道の基礎的な礼儀作法や技術、剣の理合を修得することができる。( )
- ② 打太刀(師の位)、仕太刀(弟子の位)の関係を理解し、原則として仕太刀が先に動作をする。( )
- ③ 振りかぶりは、剣先が両こぶしより下がらないようにし、一拍子で打つ。( )
- ④ 足さばきは、すべてすり足で行い、踏み込み足では行わない。( )

4. 竹刀について、矢印の示す部分の名称を( )に書きなさい。(20)

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )



